



Toda

ウィズコロナ時代に備えて “くらしの安心”を築く！



秋を迎えて行楽シーズンとなりましたが、恒例のイベントも思うように開催できず歯がゆい思いの毎日です。

市内の新型コロナウイルスの状況としては、10月31日時点で、**16人の方が療養されております。**(療養終了142人累計158名、南部保健所発表)このような状況の中で人の命を守り続けるエッセンシャルワークの方々、そして感染対策を励行する市民の皆様から感謝を申し上げます。

戸田市では、4月の緊急事態宣言以降、**市独自の「緊急支援パッケージ」**として①生活支援、②経済雇用支援、③感染防止の3本柱で緊急支援策を実施してまいりました。

①生活支援としては、法人含むすべての市民の皆様の上水道基本料金の4か月分、**約3億4千万円を免除**するとともに、**ひとり親家庭等に3万円を臨時に給付**いたしました。また**最大10万円の市民活動支援補助金を創設**しコロナ禍の市民活動への支援もスタートしました。

②経済雇用支援としては、**中小企業への無利子・無保証料の臨時制度融資を創設**し、飲食店に向けては7月中、**テイクアウト半額応援キャンペーンを実施**してご好評いただいたところです。また小規模事業者等への臨時給付金についても、医療法人やNPO法人まで対象を拡大して、**約3500事業者に一律10万円、約3億5千万円を給付**いたしました。

③感染防止対策としては、検査体制の確立と医療機関の支援をはかるため、**PCR検査を行う医療機関へ1万円の支援**(戸田市民一人当たり)と、**コロナ患者入院受け入れ医療機関へ10万円の支援**(同)を行なうとともに、75歳以上の高齢者世帯に対して**マスク50枚無償で配布**しました。さらに理美容業など**お客様と近づく業種にも消毒液1ℓ配布**を行いました。

今後、開発が待たれる治療法やワクチン実用化までの間、私たちは感染拡大を防ぎながら経済社会活動を前にすすめていくため、「**新しい生活様式**」に慣れていくことが求められます。そこで戸田市では「**ウィズコロナくらし安心プロジェクト**」を立ち上げ、**新しい生活様式を普及・定着化していくための様々な啓発事業**を全市的に進めてまいります。あわせて、子供たちの学びの保障とさらなる充実のため、市内の**全ての学校の児童生徒1人に1台程度パソコンを整備**することなどにより教育・子育ての安心を築いてまいります。

また、これからは乾燥と寒さにより感染症が蔓延しやすい季節を迎えます。特に、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスの判別が難しく、医療現場が混乱してしまうことが懸念されています。そこで戸田市では、**県・蕨戸田医師会と連携して二つの感染症の診察と検査を着実にできる医療体制づくりを進めるとともに、重症化リスクの高い高齢者のインフルエンザ予防接種を無償化**することで安心して医療が受けられる支援を進めてまいります。

一方、明るいニュースもあります。1年間延長された2020東京オリンピック・パラリンピックの**聖火リレーが令和3年7月6日に決定**し、戸田市で受入れをする予定の**オーストラリアカヌーチームの事前キャンプの覚書の再締結**など、来年の五輪開催に向けた準備がはじまりました。

来日する選手と受け入れる市民が安心・安全の環境で関わられるよう、感染防止策に万全を期すとともに、戸田市のレガシーを後世へと残せるよう努力してまいりたいと思いますので、ご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和2年11月 戸田市長

菅原文仁

ウィズコロナくらし 安心プロジェクト

総事業費

約10億円

緊急事態宣言解除後の経済活動の再開に伴う、全国的な感染者数の増加を受け、今後は、一人ひとりが『新しい生活様式』を積極的に実践し、感染防止の取り組みを徹底する必要があります
戸田市では、新型コロナウイルス感染症への感染防止の取り組みとして、ウィズコロナ時代の『新しい生活様式』を踏まえた対策事業を実施することで、市民のくらしの安心を守ります。

①新しい生活様式の定着

- 市民向け「新しい生活様式」オンラインセミナーの開催
- 企業向け「コロナ禍の企業経営」オンラインセミナーの開催
(感染症BCP整備やテレワーク導入のポイント等)
- デジタル市役所、テレワーク推進
- 新しい生活様式導入ガイドの作成及び配布
- 新しい生活様式 市民のアイデアの募集・共有
- 新しい生活様式の普及・定着促進
 - ・彩の国「新しい生活様式」安心宣言の普及定着
 - ・保健師による出前講座(オンライン方式)の実施
 - ・企業へのコンサルティング事業実施 等



②子どもの学びの機会と子育て環境を守る

- 小中学校へサーモグラフィーカメラ等を配備
- 修学旅行キャンセル料を助成
- 学習用パソコンを児童生徒1人1台程度配備
- GIGAスクールに対応した校内LAN環境の整備
- 小中学校へのスクール・サポート・スタッフ等の配置
- 学童保育室へ減収保育料等を助成
- 民間保育所へ非接触型体温計等購入費を助成
- 乳幼児健診の個別健診を実施



くらし安心プロジェクト始動!

緊急事態宣言後の経済活動の再開に伴う全国的な感染者数の増加を受け、今後は一人ひとりが「新しい生活様式」を実践することで地域の感染拡大を防ぎながら経済を回す取り組みが求められています。

そこで、戸田市では来たる“ウィズコロナ時代”に備え、未来への投資とくらしの安心を守る対策事業を実施いたします。

国や県の補助金の活用などによって総事業費約10億円を確保し、①新しい生活様式の定着と②子どもの学びの機会と子育て環境を守るという“二正面作戦”を展開することで、コロナと共存できる「安心安全の戸田市」を目指してまいります。

①新しい生活様式の定着

- ・新しい生活様式の定着に向け、社会全体で取り組む機運の醸成
- ・正しい知識の普及啓発と、好事例の横展開を推進

コロナと共存できる、安心安全のまちづくりの推進!

○新しい生活様式導入ガイドの作成・配布

- ・新しい生活様式の啓発のため、職場、学校、家庭等に合わせたリーフレットの作成及び配布

○新しい生活様式市民のアイデアの募集・共有

- ・新型コロナウイルス対策市民活動支援補助金活用事例紹介等

知る

○市民向け「新しい生活様式」オンラインセミナーの開催

- ・専門家(蕨戸田市医師会等)、著名人によるオンライン講演会

○企業向け「コロナ禍の企業経営」オンラインセミナーの開催

- ・連携協定の締結企業との協働により実施

○デジタル市役所、テレワーク推進

- ・スマートフォンを活用した行政手続の試行
- ・職員テレワーク環境整備による市民サービスの安定提供

参加する

拡げる

新しい生活様式の定着へ



みんなの行動変容で コロナ禍を乗り越える!

コロナウイルスとの「共存」は、私たちがこの感染症を克服するための処方箋です。

一人一人が少しずつ行動を変え、その習慣化が地域全体に広がって根付けば、それがコロナに対抗する力強い盾となります。

内閣官房参与の岡部信彦先生が監修した戸田市オリジナルの「新しい生活様式の導入ガイド」の作成・配布や、蕨戸田医師会の先生の開設、そしてコロナから回復したお笑いタレントの白鳥久美子さんと相方の川村エミコさん(たんぼぼ)による「コロナ対策セミナー」の実施、市内企業への「彩の国新しい生活様式安心宣言」の徹底的な普及などを実施して「知る」「参加する」「拡げる」のサイクルを回すことで新しい生活様式を定着させてまいります。



戸田市商工会と連携して、店舗・企業向けに制作した「安心ステッカー」TV取材を受けました。

児童生徒一人に一台のPC整備で教育のデジタル化を加速！

戸田市では、この2年間で約3,000台のタブレット型パソコンを導入して“量の拡充”とともに、デジタル教科書やプログラミング教育の導入による“質の確保”をはかり、県内トップの教育デジタル化を推進しています。

学校情報化ランキング

教育とICT

● 公立学校情報化ランキング
● “本物”になるデジタル教科書
● 要件満たす 授業費で公費通信が可能に

順位	市町村	導入率	導入率	導入率	台数
1	戸田市	84.0%	88.2%	79.9%	12
2	千代田区	83.2%	92.5%	73.8%	8
3	新藤原町市	82.1%	83.2%	81.1%	20
4	海老市	81.7%	89.5%	73.8%	18
5	大田区	81.5%	89.2%	73.8%	99

小学校
関東1位！

中学校
関東3位！

一方、今般の新型コロナウイルス感染症による臨時休校措置によって「オンライン学習」が試行され、自宅においても児童生徒の学びの機会を確保する必要性が認識されております。

そこで、今後の不測事態に備えるためにも、本市では文部科学省の推進するGIGAスクール構想の前倒し補助なども活用しながら、各学校に児童生徒一人につき一台程度、PC端末をさらに約7,600台整備することを決定しました。

今後は、ネットワーク環境の増強とともに、PC端末を調達し、来年度当初から市内すべての学校で一人一台程度の環境が整うよう、準備を進めてまいります。

学校・先生を知る動画



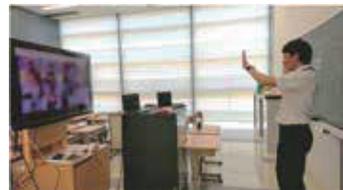
オンライン朝の会(双方向)



未習内容の補助動画



リアルタイム授業配信(双方向)



教育・子育て環境を守る！

現在、各行政機関では新型コロナウイルスの影響で業務全般に影響が出ています。

特に、集団活動が基本の学校や保育園、親子保健の先生方は、「一人も感染を出せない」という大きなプレッシャーの中で子どもたちと向き合っております。

このことから、戸田市では子どもの安全確保のためのサーモグラフィカメラの全校配備や修学旅行のキャンセル料金の全額助成、教員の事務支援や教育支援の補助スタッフの全校配置、学童保育室や民間保育所への感染防止用備品等の配備、乳幼児健診の個別健診を始めることなどにより、教育・保育等の現場の安心安全を守ります。

②子どもの学びの機会と子育て環境を守る

・新しい生活様式が定着する中で、子どもたちの学びの機会や保育の場等を確保するための取り組みを推進

▶ コロナと共存できる、安心安全の子育て環境を築き、守る！

学び

○小中学校へサーモグラフィカメラを配備

・すべての小中学校(18校)へサーモグラフィカメラ、消毒液等の感染防止用備品を配備

○修学旅行キャンセル料を助成

・感染拡大防止による修学旅行の日程変更等に伴い発生するキャンセル料を助成

○学習用パソコンを児童生徒1人1台程度配備

・児童生徒(11,519人)向けに学習用パソコンを1人1台程度配備

○GIGAスクールに対応した校内LAN環境の整備

・GIGAスクール構想の実現に向けて、すべての小中学校の校内ネットワークを強化

○小中学校へのスクール・サポート・スタッフの配置

・すべての小中学校へスクール・サポート・スタッフを配置

○小中学校への教育支援補助員の配置

・すべての小中学校へ教育支援補助員を配置

保育

○学童保育室へ減収保育料等を助成

・児童の受入自費要請に伴う学童保育料の減収分を補填
・臨時開室に係る人件費等及び感染拡大防止に係る消耗品購入費等を助成

○民間保育所へ非接触型体温計等購入費を助成

・民間保育所へ感染防止用備品等(非接触型体温計、マスク、消毒液、空気清浄機等)の購入費を助成

保健

○乳幼児健診の個別健診を実施

・1歳児健診及び2歳6か月児歯科健診を医療機関における個別健診により実施

高齢者のインフルエンザ定期予防接種を無償に！

冬の時期を迎えるにあたり、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行(ツインデミック)が危惧されております。

特に、重症化リスクの高い高齢者等のインフルエンザの流行をできる限り早期に防ぐことが重要となります。

そこで、戸田市では65歳以上のインフルエンザ定期予防接種について令和3年1月末日までの自己負担分(1500円)を埼玉県と戸田市が補助により無償で接種できるようにしました。

蕨戸田医師会ともしっかり連携をはかり、高齢者の早期接種を促してまいります。



実現

中学校の体育館(5校)にエアコンが設置されました!



設置後、視察に訪れた喜沢中学校にて

戸田市では、私が市長就任後の初めての予算執行から、全学校の体育館へのエアコンを設置する計画を進めてまいりました。

3年間で市内の全ての学校体育館にエアコンを設置する計画の中間年である今年度は、改修中の東中を除く全中学校の体育館にハイブリット型エアコン設置が完了しました。

視察に訪れた日は外気温が摂氏32度に対して館内が28度。湿度は54%から44%に下がっていました。実際に夏の体育館特有の「ムワっ」とした暑さがなく、体育館内が快適化されている感覚です。

冬場は暖房としても利用することができますので、今後は気温の変化に左右されることなく子供たちの学習効果や部活の活性化がさらに図られる事を期待したいと思います。

一方、学校体育館へのエアコン設置は災害時に避難した避難者の健康管理にも資するものであり、戸田市全体の防災力強化にもつながります。来年度は小学校の体育館です。今後もしっかりと体育館へのエアコン設置を進めてまいります。

推進

浸水被害ゼロに向けて!



昨年の台風第19号の際、戸田市内では24時間で約300ミリメートルもの豪雨に見舞われ、広範囲に内水被害が発生してしまいました。

この事態への緊急対策として、戸田市では今年度、被害を受けた地域の52箇所に雨水浸透ますの設置を行うとともに、マンホールポンプを整備するなど出水期までに効果の見込める対策を講じました。

また、河川管理者の埼玉県と調整をはかり、市独自に笹目川とボートコースの水位の情報を発信することといたしました。

ボートコースの水位

ボートコースは大雨が予測されるとき、事前に水位を下げ、災害に備えています。しかし、大雨時には、笹目川の水位が上がると水が流入するため、ボートコースの水位も上昇します。状況によっては周辺へ溢水する恐れがあります。

状況を5段階に分け、情報を発信します。

①流水情報	②溢水注意情報	③溢水警戒情報	④溢水情報	⑤周辺注意情報
ボートコース内に水が流入している。	ボートコース内へ水の流入が続き、水位が上昇している。	ボートコース内への流入が続き、さらに水位が上昇している。	ボートコース周辺へ溢水している。	ボートコースへの水の流入が止まった。
今後の降雨や水位状況に注意してください	溢水に備え、今後の状況を注意してください	直ちに溢水に備えた行動をしてください	周辺住民の方は、垂直避難など身の安全を守る行動を	今後の降雨などに注意してください

! 大雨時には、実際の降雨の様子に注意し、市ホームページなどからの各種避難情報、気象情報を確認してください。また、家財道具、貴重品、生活用品を2階や高いところに移動するなど、早めの行動を心掛けましょう。

さらに、ボートコースの水位を可能な範囲でこれまでの既定の水位よりもさらに下げる方向で事前にご協力いただけることとなりました。これにより、ボートコースを仮に10センチ下げる毎に約21,600立方メートル(25メートルプール44杯分)湛水量を確保することができました。

このように緊急的な浸水対策事業とともに、知恵を使った治水対策を推進しながら、市全体の治水安全度向上を徹底的にはかり、国や県からの支援も勝ち取りながら市民の生命と財産を守ることに全力を尽くしてまいります。



【すがわらふみひと】 昭和50年生まれ(45歳)

美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学) 元社会体育会社代表、戸田市議会議員(2期6年間)、埼玉県議会議員(2期7年間)、平成30年3月第4代戸田市長に就任
【家族】両親、妻、娘、息子 【趣味】読書、ジョギング
【座右の銘】上杉鷹山公の「なせば成る」

【討議資料】

すがわら文仁 後援会事務所

〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL/FAX 048-432-3585 mail@sugawarafumihito.com

定期購読を希望される方はご郵送します。また、市長のまじめな政治を応援するサポーターを随時募集しています。

